

**県立沼津工業高等学校**  
**PTA会報**  
 令和6年2月29日発行  
 校訓 不撓



## PTA活動を楽しもう！

PTA会長 河田憲一郎

の生徒募集にも好影響と思われる文化祭となりました。

さらに、復活したPTA会員がリニアモーターカーの試験走行の音に圧倒され、信玄餅の工場とワイン工場を見学しました。

ただいまして誠にありがとうございます。沼工PTAに私は六年間参加させていました。そのコロナ禍の中、学校では仮校舎での授業や新校舎移転などの環境変化がありました。

PTAの主な活動である文化祭は、今年、新校舎移転後初開催となり、キッチンカーの販売など新しい環境の中で成長した子ども達の姿を見ることができました。また、PTA委員会でご提案いただいたPTAによる綿菓子とポップコーンの販売は役員の皆さんのおかげで大盛況となり、今後



## 多様性の在り方を考える

副校長 増田陽一

と思つていました。イスラム教のお祈りは、一日五回あり、その度にモスクから祈りの時刻を告げるコーランが街中に大音響で響き上げます。さて、今から約二十年前、縁があり二年間、中東のトルコ共和国で生活していました。本紙では、トルコ共和国での生活を振り返り、沼工の子どもたちにエールを送ります。

(前半部分の寄稿は昨年度と重なります)トルコへは日本からイスタンブールまで直行便で十二時間、公用語はトルコ語、イスラム教信者がほとんどいる国ですが、政教分離されています。隣接する国は、ギリシャ・ブルガリア・キプロス・ジョージア・iran・イラク・シリア・アルメニア・アゼルバイジャン、黒海の対岸はロシア・ウクライナ、ルーマニアであり、中東の雄と呼ばれている大国です。

国土は日本の二倍人口は日本の約六割です。私が暮らしたエーゲ海沿いのイズミールという都市は、春と秋がほとんどなく、六月には毎日四十度を超す灼熱の夏がやってきますが、湿度がないので日陰は心地よいです。冬は雨季となり雨が続きます。このような地ですので、住居事情は、日本とは違ったリビングは湯が当たらない北側にあることが常です。首都はイスタンブールではなく、国土中央にあるアンカラです。当時の物価は日本の十分の一で、主食のパンはフランスパンくらいの大きさで二十円ほどで無税です。一方、タバコ等の嗜好品は十八歳課税されます。私が食事で困ったことは、日常豚肉が食べられないことでした。イスラム文化ですので、ステーキには豚肉が売っていないのです。トルコでお肉といえば羊なのですが、私は食べられませんでした。どうしても豚肉が食べたいときは、休日に、イスタンブールまで飛行機で行き、日本食レストランに駆け込みました。高い食事代です。。。実は、金曜日の午後は、ほぼ全員の男性がイスラム教のモスク(寺院)にお祈りに行くので、授業は特別日課になっていたのです。(今思えば、男子生徒も校内にいなかった気がします)この文化をじっくり知らず、いつも約束を反故されている

うな気がします。最後になりますが、役員の方々や、校長先生をはじめ担当先生方、PTA活動に参加されたい父兄の方々は、入学式前に事務室まで「PTA活動に参加希望します！」と連絡ください！

日本人の私には到底ついていけない行事でした。。。また、私が暮らしていたイズミールは、アジア人が殆どいません。存在 자체が自立始まる文化で、各家庭で夕食を済ませてからの会となり、トルコの民族舞踊など盛り上がり、延々午前二時頃まで続きます。翌日は仕事ですが、皆さん何事もなかつたように働くわけです。タノムです。

日本人の私には到底ついていけない行事でした。。。また、私が暮らしていたイズミールは、アジア人が殆どいません。存在 자체が自立一つです。ですので、毎日、同じスケジュールで行動しないよう心がけていました。危機管理の観点から、中央省庁や学校に行くルートを変えていたり、意図的に遅刻していくことも必要でした。トルコの文化をもう一つ紹介します。トルコでは長老の学校の先生方が大変敬われます。例え、電車やバスは空席があつても若者は絶対に座りません。五十年以上の方々のために空けておられます。(当時、トルコは五十歳未満は定年退職。以降は人生を繼續です)。更に、貧しい人たちに施す文化があります。年に一回、バイトムといいお祭りがあり、スーパー・マーケットの駐車場では、生きた羊が売られるのです。羊は、裕福な家庭の玄関先で命を捧げ、貧しい人たちに振舞われます。その関係で、この時期、ナイフで手を切る人が続出するので、病院はとても混雑します。(病院と言えば、熱を出して病院に行くと、裸にされベッドに放置されますが、熱があるから熱い理由です。これも驚きました)人々に早く施したいといつもトルコ人の熱を感じたものでした。

ひとりのめのないことを書きましたが、異国で生活することにより、母国で自分が何をすべきか明確になりましたし、母国の誇りを噛みしめることができました。沼工生諸君、今後、海外で働くチャンスがあれば、沼工で学んだことを自信に自ら飛び込んで行ってほしい。毎日がエキサイティングで、自分の人生觀が変わるのはすです。。。頑張れ沼工生！過信せず自信を持つって。。。これからも保護者の皆様より力を合わせ、今後の社会を生き抜いていくことができる沼工生を育てていきたいと思います。

## 役員だより

沼香二地区 遠藤紀代子

P T A 活動

長男が高校三年生になった今年度、P T A 役員を引き受けました。P T A の活動が、どうコロナ禍の入学だったのでP T A 活動が、どのようなものか分からず不安でしたが、担当の先生やP T A 会長、たまたま隣に座った役員の方が声をかけてくださり少し安心したのを感じます。

動が中止や自粛となり、学校での様子をあまり知る事が出来ませんでした。今年度は制限のない沼工祭が開催され、子供達の誇らしく、楽しそうな顔を見る事ができました。先生方やPTA役員の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。世界では戦争が起り、新年早々の震災と通常の生活を送れない人々がたくさんいる今、私は平和な日常生活を送ることが出来ています。当たり前の日常に感謝を忘れず、息子達が高校生活で得た知識と経験が復興支援に役立つ事を願っています。

### 活動を通して

#### 愛鷹地区

#### 勝亦みゆり

本年度、地区役員を務めさせていただきました。文化祭では、来校されたお客様の多さに驚き、時間もあつという間でした。生徒の皆さんのが生き生きと楽しそうに活動しているのが印象的で、どのクラスの展示も科の個性が出て素晴らしいかったです。先生方をはじめ、本部役員の皆様の生徒への思いと創意工夫のアイデアに感動しました。短い間でしたがありがとうございました。

### PTA役員を引き受け

#### 東伊豆地区

#### 松本加代子

地区会長を引き受ける事となり、会合や文化祭のボランティア活動に参加しました。コロナ禍により、しばらく活動に制限があり、前年度からの引継ぎがほとんどなく、不安定なスタートでしたが、参考した会合や文化祭のボランティアで沢山の人と出会うことが出来ました。そして、校内の子供たちの楽しそうな顔も間近で見ることができ、本当に良かったです。先生方、本部役員の皆様のご尽力に感謝の1年でした。ありがとうございました。

### PTA活動に参加して

#### 中伊豆地区

#### 田中 希美

今年度、ご縁があり中伊豆地区委員長を引き受けさせていただきました。何もわからないところからのスタートで不安ばかりでしたが、「一緒に役員を引き受け下さった皆様にも多くのご協力をいただき、助けられながら一年間頑張らせていただきました。六月には、新型コロナ感染拡大の影響で、中止されていた夏期地区総会を四年振りに開催す

### PTA活動

#### 長泉地区

#### 内田 美和

PTA活動といえば大きなイメージがあるのですが、私には務まるだらうかと思いました。実際に想像とは違い、先生方や保護者の方と交流をもて、学校が身近になりとても楽しく活動ができました。学校行事が通常通り行われるようになり、沼工祭では、役員の皆様とボップコーンと綿菓子の模擬店を行いました。私は、ボップコーンの販売のお手伝いをさせて頂き、とても楽しかつたです。どのフレーバーにするかを子供たちが真剣に悩んでいる姿がとても可愛かったです。体育祭では、迫力がある応援に圧倒され真剣に競技に取り組む姿勢がとても凛々しく感じました。前日とは違った顔つきで驚きました。今年度の夏は、今までにない暑さでしたが、頑張つて作成した各科のアーチはとても素敵でした。

こうやって子供の為学校の行事に参加することは最後だと思うと少し寂しく感じます。忙しい日々の中、時間をやりくりして沼工祭を盛り上げて下さった会長さん、役員の皆様、先生方には感謝しております。ありがとうございました。

堅苦しくなく、とても雰囲気がよく、気軽に参加できたPTAに感謝申し上げます。

あつという間の三年間

据野地区 松下 桂子

桜の季節に入学し校舎の前で写真を撮った事…つい最近の事のようです。

昨年役員を引き受けた事が仕事柄忙しく学校の行事にも参加できず思ひ返してましたが、一緒に役員を引き受け下さった皆様もなかなか浮かんでこない、そんな思いですが、三年間という高校生活で様々な事を経験し沢山の検定や資格を取得できたこと…大学にも合格し本当に成長してくれました。

先生方には色々お世話をになり感謝の気持ちで

る事ができました。地区保護者の皆様や地区担当の先生方と進路の事や心配事などの相談等のお話をできる機会を設けることができ、とても有意義のある時間を過ごすことができました。至らない点も多々あつたかと思いますが、多くの方々に支えられて役員活動をすることができました。本当に有難う御座いました。

### 感謝の一年

#### 中駿地区

#### 宮入 千春

いっぱいです。沼工に通わせて良かったです。三年間本当にありがとうございました。役員の皆様も短い時間ではありましたがあつたがとうございました。

高校での役員を初めて引き受けたものの、何を

ございました。

### 専門部長より

#### 保健体育部長

#### 白岩 亜希

今回ご縁があり、右も左も分からぬまま保健体育部長を引き受けさせていただくことになりました。

保健体育部の主な活動としては、六月十日に校内安全点検を行ったことです。先生方に新校舎を案内していただきながら、校内の安全に関する箇所を念入りに確認させていただき、気づいた点（たとえば消火器の設置場所が目立たない色である点など）をメモ書きして提出させていただきました。

安全点検終了後は、不撓館で風水害の警報・注意報の警戒レベルと登下校のあり方について議論がなされ、アンケート形式での保護者の意見の吸い上げが行われました。

こうした地道な活動によって子どもたちの安全な学校生活に寄与できれば幸いです。そして、PTAの保健体育部の皆様のご協力に深く感謝しております。本当にありがとうございました。

### 進路学習部の活動を通して

#### 進路学習部長

#### 岸本 祐司

この一年間、進路学習部長として活動させて頂きましたことは、私にとって大変貴重な経験でした。

言うまでもなく、高校時代の進路選択は、生徒それぞれの人生におけるおききな岐路の一つです。高校生活は、知識を得るだけでなく、自己理解や将来像を描く大切な時期でもあります。その上で進路を選択することは、生徒たちが将来の目標に向かって自己実現を果たすための第一

歩です。

進路学習部として、進路講演会などを通じて、生徒たちが自分自身を知り、興味や才能に合った進路を見つける一助となつたならば、これほど嬉しいことはありません。息子も、なかなか就職の方向が定まらず、どうなることかと心配していましたが、おかげさまで進路も決まり、ほっとしています。

この一年間の活動が出来たのも、ひとえにPTAの皆様のご支援と協力のおかげです。私たち進路学習部一同、心から感謝申し上げます。

今後も学校と保護者が連携し、生徒たちの成長と将来に向けてさらなる成果をあげていくことを心から願っています。

### PTA活動を通して

#### 風紀部長

#### 小川 亜由美

今年度から道路交通法が一部改正され自転車利用者にヘルメット着用の努力義務が課されました。学校の方でも一年生は義務化され、二年生は義務ではないものの着用を推奨しています。

私は達風紀委員は朝の通学路に立ち登校指導をさせて頂きました。まだまだヘルメットの着用率は低い状況ですが生徒の皆さんへ挨拶を返してくれたり交通ルールを守つてとても礼儀正しく自転車で過ぎ去つていく姿に大きく成長していました。朝のすこしの時間ですが登校風景を見ることが出来たことは風紀委員をやつて良かったと思っています。

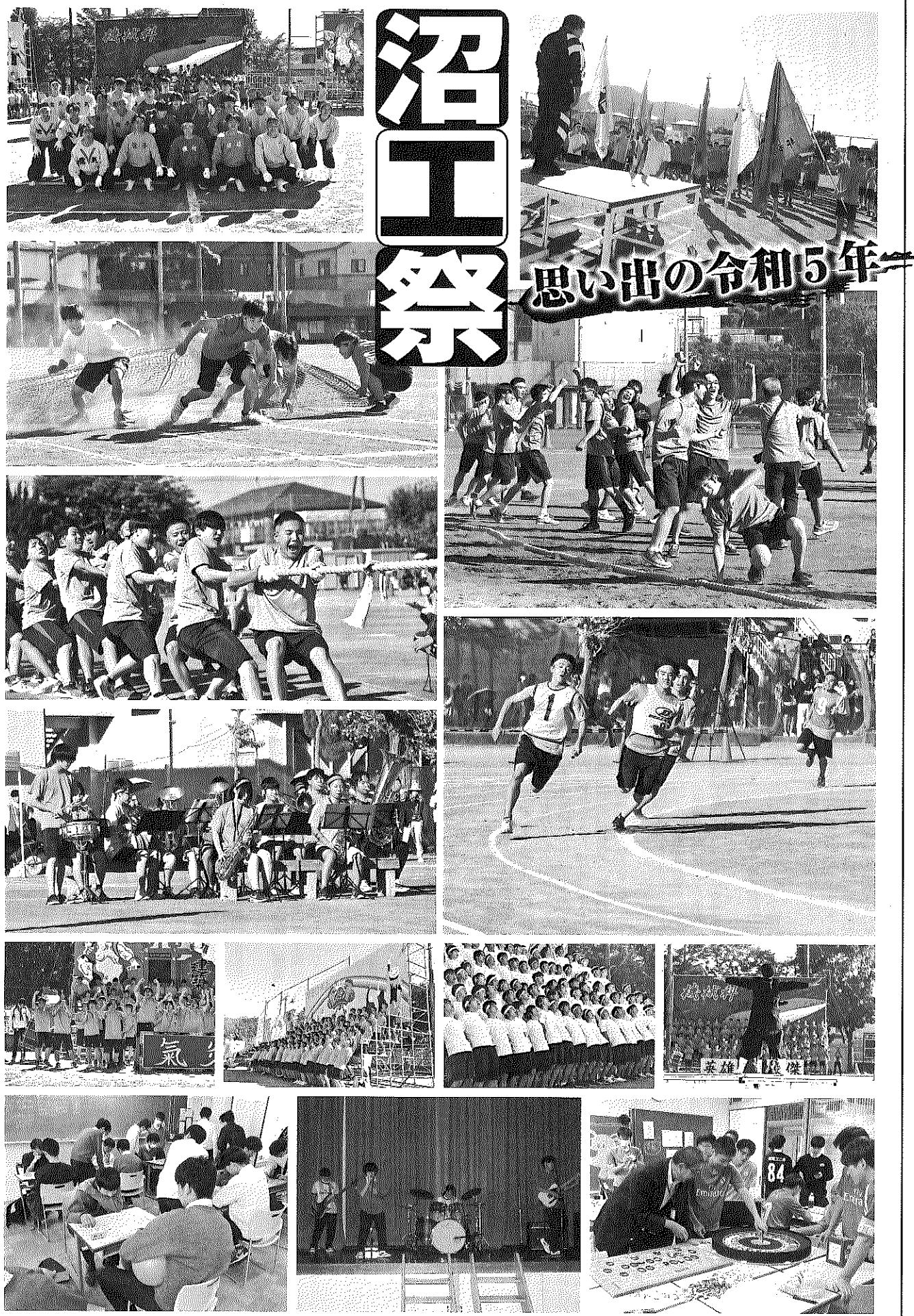
生徒の皆様だけでなく保護者の皆様も交通事務がなく安全で安心な高校生活三年間を送つて顶ければと思います。

一年間、ありがとうございました。

ロナであった三年間活動も減っていた中、何をするのだろうという想いでした。コロナが明けた途端に受付を協力させて頂きましたが、子供たちの高校生活の楽しそうな様子を間近で見る事ができ、良い機会を頂いたと思っています。日頃子供たちのためにご尽力頂いています。方、本部役員の皆様に感謝を申し上げます。

# 沼 工 祭

思い出の令和5年



令和六年度は新しい学習指導要領の完成年度です。新しい学習指導要領の改訂の経緯には、「今の子供たちやこれから誕生する子供たちが、成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想される。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きくまた急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。」と書かれています。東日本大震災や平成二十八年の熊本地震、また毎年のように起る集中豪雨による災害、そしてコロナと社会構造だけでなく自然

変化へ積極的に向き合い協働して課題を解決していくため、自分から周りの人たちと協力して問題に臨む姿勢の身に付いた人材の育成に取り組んでいきたいと思います。

進路指導部より

進路指導部長 青野 浩行

本年度の就職に関しては、求人数は昨年と比べると増加傾向にあり、ここ数年は毎年増加しています。十二月末時点での本校の進路状況は、学校推薦での就職希望者

望者三十一名に対し三十名が合格をしています。現在は大学が総合型選抜（旧AO入試）や学校推薦型選抜（旧推薦入試）で口述試験など学力試験を必須としています。それにより授業や自宅学習などで基礎学力を向上させることが重要課題となり、試験間際にあって筆記対策や面接対策を行うだけの付け焼刃では合格を勝ち取ることができません。またオープンキャンパス等で学校情報を入手して、志望理由書の内容の充実や面接での回答内容の充実、レポート作成能力の向上も今まで同様に大切です。このように就職・進学試験で

本年度は、様々なことに新しい試みをした年となりました。新校舎が完成に伴い、新しい服装規定の施行、アルバイト届け出制、自転車通学時ヘルメット着用など、社会の価値観の変化や家庭の実情に配慮したものであります。

生徒の身近な所では、校舎利用の工夫を図りました。新校舎に入つて広いスペース（生徒ホール）の活用を行いました。今までの集会では、体育館に集合して縦横を合わせ整列した隊形でした。新しい校舎では、生徒ホールの吹き抜けを利用して、一・二年生は

教務部長 篠田直弥

環境の変化も予測困難となつていて、ます。このような変化の先行きを見通すことが難しい時代であつても、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことが大切だと言われています。

第102回全国高校サッカー選手権大会において、地震の影響のため石川県代表チームを応援するはずだった地元応援団は会場へ行けず応援がいないうことが予想されました。しかしOBなどの呼びかけに大会で敗退してしまったチームの選手たちで即席の応援団が結成され、ごみ袋で急造されたユニホームを着て声援を送っている姿をニュースなどで見られましたから

いました。不採用の理由を企業から聞き取りをしていく中で面接がうまくいかなかつたという意見が多くありました。面接時に明確な志望理由が話せなかつたり、自己表現や面接官とのやり取りがうまくできず、質問に対し回答がチグハグであるなど、基本的なコミュニケーションがうまく取れないなどがありました。生徒自身を感じている「人と会話ができる」と企業の考える「人と会話ができる」とでは意味が大きく違つてきます。その部分の乖離を無くしていきことが今の一、二年生には大切ではないかと考えます。進学に関しては、十二月末時点での進学希望がより鮮明となつてきました。継続して打ち込めるものを何か見つけることができると進路の可能性が大きくなつたと感じます。進路実現のために低学年から目標を設定し努力を積み重ねていってください。まだ目標が漠然としている場合は、目標ができたときを選択できるように成績を上げるなどの努力をしておくことが大切です。今後も保護者の皆様のご協力を願い申し上げます。

教務部より

# 各分掌

だ  
よ  
り

進路指導部

進路指導部長 青野 浩行

生徒指導部より

生徒指導部長 相磯 武仁

本年度は、様々なことに新しい試みをした年となりました。新校舎が完成に伴い、新しい服装規定の施行、アルバイト届け出制、自転車通学時ヘルメット着用など、社会の価値観の変化や家庭の実情に配慮したものであります。

生徒の身近な所では、校舎利用の工夫を図りました。新校舎に入つて広いスペース（生徒ホール）の活用を行いました。今までの集会では、体育館に集合して縦横を合わせ整列した隊形でした。新しい校舎では、生徒ホールの吹き抜けを利用して、一・二年生は

二階廊下から三年生は教室の外に出る形で特に整列をするわけではなく、自由に生徒ホールが見える位置から表彰や生徒会が主催する行事などを行いました。これは、生徒の自主性に働きかけ、明るくその場にあつた雰囲気を生徒自身に作らせる場となるよう試みたものであります。生徒も初めは戸惑いをみせたものの回数を重ねるごとに生徒も慣れ良い雰囲気で行事を行うことができました。

沼工祭文化の部では、キッチンカーを呼び飲食の販売をしました。生徒の中には、飲食の模擬店を自分たちが出すことを楽しみにしていることも十分承知をしていました。しかし、学校生活の中で生徒が学習したものを発表する場が高じました。等学校の文化祭という考え方もあり、生徒の飲食の模擬店を廃止しました。多くの生徒の力が分散することなく科展示やクラス展示に力が注がれていたように思います。また、ステージも若さ溢れ「今どき」を感じさせてくれました。今後もより良い沼工祭が行われるように生徒を支援していきます。

術なのだと改めて感じます。

人の課題に対し、自分で解決しようとする力と同様に必要な解決する力です。子どもたちの心身の健康を考えたとき、人とのコミュニケーションが果たす役割の大きさは言うまでもありませんが、それは「相談する」「支援を求める」ことも含まれるのではないか。

また、学校以外の専門家との橋渡しもしています。必要な場合は公認心理師等との面談を設定できます。沼工生が、人生の土台を築くこの大切な十代の時期に、自分と向き合って自身を磨き、他者との差異を乗り越え、自他の人格を尊重できる大人に成長していくアシストができるよう、教育相談部員一丸となって業務にあたります。

### 管理安全部より 管理安全部長 飯田 孝一

新年度開始から九か月ほど経ち、新しい校舎での学びはだいぶ落ち着いてきました。一方でこれまで気づかなかつた、夏季・冬季の空調の運用や、行事での校舎使用方法など、試行錯誤の事も多々あります。今後も安全衛生を考慮しながら、適切な校舎の使用を通して、生徒達の成長に貢献できればと考えています。一方で外に目を向けると、二〇

二四年は新年早々、一日に能登半島地震、二日に羽田空港衝突事故

と、大きな災害に見舞われました。この度の震災に際し、心よりお見舞い申し上げます。この二つの大きな災害から、いつどこでも災害が起る、「災害発生の不確定要素」と、災害が生じた時に被害を最小限に抑える「事前の訓練の大切さ」を学ばなければいけません。

改めて見直して気づいたことなに書いており、その中では石川県や千葉県で大きな地震が発生していると記載しています。大きな災害が起こるたびに、学ばなければいけないこととして上記の二点が挙がり、時間の経過とともにその意識は小さくなってしまっていきます。それを防ぐためにも定期的な防災訓練の実施が大切だと思いま

沼津工業高校では年に二回防災訓練を実施しています。今年度冬の防災訓練は学校閉鎖で日程の変更があり、講演の中止を余儀なくされました。また、避難経路には改善の余地があることがわかり、実際の災害時に対応できるような経路へ変更して実施しました。同時に旧態依然の防災訓練の在り方に疑問を持ち始めました。現生から情報端末の活用が推進され、Google Forms等を活用することにより簡便迅速な意見の集約が可能となっています。今年度は、事務室の協力もあり防災食の試食を行いました。全ての改善策を完食

全に反映させることは出来ませんが、生徒や教員の防災訓練への意見の集約を行い、その意見を反映させながら、より実益のある防災訓練の運用、ひいては災害時における被害の最小化を考えなければと考えています。

### 情報図書部より 情報図書部長 渡邊 翔太

日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

今年度、大きく三つ【学校の情報設備の整備】【図書室の積極的な利用】【芸術鑑賞教室の実施】の活動を行ってきました。この活動について報告させていただきます。まずははじめに、【学校の情報設備の整備】からです。今年度から一人一台パソコン(BYOD)が導入され、生徒が元々持っていたパソコンやタブレットを学校に持ち込んでインターネットにアクセスし、学習をはじめとした学校生活に活用するようになりました。その際に必要なMACアドレスの収集やパソコンがインターネットに接続できない時の対応、オンラインでの集会の補助等を積極的に行なっています。生徒の学校生活のサポートを行いました。引き続き来年度も情報面で学校を支えていきたいと思います。

二つ目は【図書室の積極的な利

用】です。新校舎になり、図書室も広く綺麗になりました。しかし、図書館の利用があまりないと感じています。なので、今年度新たに試みとしてブックフェア(書籍見本市)をマルサン書店さんと企画し、本校図書館で行いました。また、昨年度好評だった校長先生の一城を語る会やALTのギャビン先生の「英会話カフェ」を行なうなど図書館に少しでも興味を持ち、足を運んでもらえるようにしました。来年度も積極的に図書館で様々な企画を行っていきたいです。

三つ目は【芸術鑑賞教室の実施】です。新型コロナウイルスの影響で昨年度まで芸術鑑賞教室が中止していましたが、落ち着いたため今年度、劇団鳥獣戯画さんに「トリップングミスターじじい」を本校体育館で公演していただきました。本校で行う初めての芸術鑑賞教室だったので、慣れない部分が多いりましたが、生徒や先生方が協力をしていただき、無事に終えることができました。今回の反省点や改善点は改善し、よかつた点はさらに良くなるように努力し、生徒が芸術に触れる機会を作つてもらいたとります。今年度も引き続きご理解とご協力のほど宜しくお願いします。